

コミュニケーション

行動憲章

沖電気グループは、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を適時かつ公正に開示します。

あるべき姿

広く社会に沖電気を正しく理解していただくため、経営方針やさまざまな企業活動を正しく伝える適時・適切な広報活動を積極的に行うとともに、社内外のステークホルダーとのコミュニケーションを促進します。

株主・投資家に対し、正確な会社情報を適時かつ公平に提供します。株価に重大な影響を及ぼす情報の適時開示とともにインサイダー取引を防止し、証券取引市場における公平性を確保します。

タイムリーで適切な情報開示

報道機関を通じて広く情報を発信

沖電気は、グループ会社を含めたさまざまな企業活動を多くのステークホルダーの皆様にタイムリーに伝えるために、報道機関を通じた情報発信を強化しています。プレスリリースの発信量を増やすとともに、記者会見による記者との双方向コミュニケーションの充実、個別取材への積極的な対応など、情報

発信に努めています。また、グローバルに情報を提供して理解を深めるために、英語・中国語でのリリース発表を積極的に行うとともに、自社のWebサイトにも同時に公開しています。



ATM新製品発表 (2005年3月23日)

IR活動の充実

決算説明会の開催

沖電気は、投資家の皆様に企業活動を適時・適切にご理解いただくため、2003年度第一四半期から四半期ごとの決算発表を実施しています。決算発表と併せて開催している機関投資家向けの決算説明会では、決算情報のほか、ビジョンや経営戦略を経営陣が語ることで、投資家の皆様に沖電気グループをより深くご理解・ご判断いただけるよう努めています。また海外においても、投資家の皆様と幅広いテーマでIRミーティングを積極的に行い、経営戦略や個別事業戦略、個別商品・技術について説明しています。また国内外において、投資家向けの工場見学会なども実施しています。



2005年3月期決算発表

なお、情報開示の公平性を保つため、決算をはじめとするIR情報を自社Webサイトに日本語・英語で即時掲載しています。



ニューヨークでの投資家説明会

個人投資家向けIRサイトの充実

沖電気は、個人投資家の皆様への情報開示にも積極的に取り組んでいます。沖電気のWebサイト内に個人投資家向

けIRサイトを設け、図やグラフはもとより、動画や音声も活用したわかりやすい会社説明コンテンツを提供しています。また、登録いただいた方々に決算情報、証券取引所へのファイリング情報、新商品・サービスなどのプレスリリース情報、IRサイトの更新情報などを電子メールでお届けしています。



Webサイト内「個人投資家の皆様へ」

インサイダー取引防止

沖電気グループは、株主や投資家への適時・適切な情報開示を行うとともに、株主・投資家保護や証券市場の信頼性確保のために、インサイダー取引の防止にも努めています。具体的には、「インサイダー取引防止規程」を定め、その遵守をリスクマネジメントの一環として推進しているほか、インサイダー情報の認定・解除を徹底するために「インサイダー情報管理責任者」が、インサイダー情報に該当するか否かの判断、インサイダー情報の登録、情報受領者の特定などのプロセスを管理しています。

多様なステークホルダーに応じた情報開示

Webアクセシビリティ指針の策定

沖電気は、2004年10月、高齢者や障害者を含むさまざまな方に当社のWebサイトを快適に利用いただけるよう、Webアクセシビリティ(利用しやすさ)の指針をまとめた「沖ホームページ制作ガイドライン・アクセシビリティ編」を作成しました。2004年6月に制定されたウェブコンテンツJIS※に対応し、音声による読み上げソフト利用者への配慮などを強化しています。

2005年1月から、沖電気の会社情報および投資家情報サイトで本ガイドラインの適用を始めており、今後さらに適用サイトを拡大していく予定です。



Webサイト内「沖ホームページにおけるアクセシビリティ対応」

※ ウェブコンテンツJIS: JIS X 8341-3:2004「高齢者・障害者等配慮設計指針 - 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス - 第3部: ウェブコンテンツ」。主に高齢者や障害者および一時的な障害のある人がWebコンテンツを利用する際の、アクセシビリティの確保と向上をめざした工業規格。

対象・目的ごとに各種媒体を整備

沖電気グループは、立場や関心事項の異なる多様なステークホルダーのご要望に応え、コミュニケーションを図るために、社外向けのさまざまな媒体を発行しています。



沖電気グループの概要や事業・製品のほか経営・財務情報をまとめた「アニュアルレポート」



環境保全活動とそのパフォーマンスデータをまとめた「環境報告書」



沖電気グループの技術を紹介する「沖テクニカルレビュー」

また、これら各種の発行媒体に記載しているものを含め、グループのさまざまな情報をタイムリーに発信するために、Webサイトの充実を図っています。現在、日本語サイトおよび英語によるグローバルサイトを設けているほか、ビジネスが拡大する中国向けのポータルサイトも開設して中国語での情報発信を強化しています。

一方、社内向けには、沖電気グループの社員を対象とした社内報を発行しています。さらに、グループ全体で情報をタイムリーに共有・活用すべく、イントラネットホームページや英語・中国語のWeb社内報も充実させています。



社内報



英語版Web社内報



中国語版Web社内報

情報通信融合ソリューションフェアを開催

2004年11月11日・12日、東京都港区虎ノ門のOKIショールームにおいて「OKI情報通信融合ソリューションフェア2004」を開催しました。グループの掲げる情報通信融合ソリューションコンセプト「AP@PLAT®」に基づき、「情報通信融合ソリューション」「金融機関向けサービスソリューション」「通信キャリア向けソリューション」「特設展示」「先進技術」という5つのゾーンに分けた展示のほか、各界のオピニオンリーダによる基調講演および特別セミナーを行い、2,500名のお客様に沖電気グループの最新技術・商品をご覧いただきました。



OKI情報通信融合ソリューションフェア2004

ステークホルダーとの対話

沖電気グループは、CSRに関わる取り組みのなかで、ステークホルダーの皆様の声に応える企業活動を実践していくためのコミュニケーションを強化していきます。この「コミュニケーション」の項でご紹介した取り組みのほかに、これまで実施しているコミュニケーションの事例については右の各ページに記載しています。

コミュニケーション事例

- お客様とのコミュニケーション 14ページ
- お取引先とのコミュニケーション 18ページ
- 社員とのコミュニケーション 28ページ
- NPOとのコミュニケーション 38ページ
- 地域社会とのコミュニケーション 39ページ